

農業の道を未来へ切り拓くために

Agri Road

アグリロードながおか

No.40

2024年3月29日
発行

長岡市担い手育成総合支援協議会（事務局／長岡市農林水産部 農水産政策課）



特集 農業情熱ランナー ～挑戦への道～

農地集積で地域をまもる ～法人化の取組み～

[information]

「地域計画」の策定を進めます
研修支援事業でサポート
農楽仕事(のらばいと)をご活用ください
スマートアグリ推進事業補助金
環境にやさしい農業をはじめませんか

[農政VOICE]

光陰如箭(光陰矢の如し)

四季の山古志写真コンテスト入選作品(片野功一さん)

環境にやさしい農業をはじめませんか



今年の1月に新潟県特別栽培農産物の認証基準が改正されましたが、環境に配慮した農法の実践は、世間から高い注目を集めており、産地にも求められています。
長岡市では、環境保全に資する農業を対象とした支援制度やブランド化を実施しています。これらの制度を活用し「環境にやさしい農業」に取り組みましょう。

環境保全型農業直接支払制度

地球温暖化防止や生物多様性保全などに効果の高い取組を実践する農業者を支援するものです。

●対象取組の具体例

- 堆肥の施用 4,400円/10a (最大)
- 長期中干し(14日以上の中干しを実施)..... 800円/10a
- 秋耕(水稻の収穫後に耕うん) 800円/10a
- 有機農業 12,000円/10aなど

※化学肥料・化学合成農薬を地域の慣行レベルから原則5割以上低減する取組と対象取組を合わせて行うことが必要です。

お問い合わせ

長岡環境保全型農業推進協議会事務局
(長岡市農水産政策課農産係)
TEL 0258(39)2223



ブランド認証制度

環境保全型農業で栽培され、長岡市が太鼓判を押しなお米をブランド認証し、ロゴシールの提供やPRなど販売を支援します。

●対象となるお米

環境保全型農業直接支払制度に取組む圃場で栽培されたお米
(品種、等級は不問)



小さな
生き物たちと
育むお米
ながおか環境保全米
認証米

お問い合わせ

長岡産食材ブランディング委員会事務局
(長岡市農水産政策課農村政策係)
TEL 0258(39)2223

長岡うまい米コンテスト 最優秀賞は諸橋昇一さんが受賞!!

第15回を迎えた長岡うまい米コンテストがこのたび開催され、合計175点の出品米の中から厳正なる審査を経て、来伝の諸橋昇一さんの栽培したコシヒカリBLが最優秀賞に輝きました。

当日は、最終審査会のほか、新ブランド米「小さな生き物たちと育むお米」の特製おにぎりの配布やお米を使った体験ブース、地場産マルシェが開催され、大人から子どもまでたくさんの方に楽しんで頂きました。

個人部門 (敬称略・五十音順)

- 最優秀賞 NAGAOKA**
諸橋昇一
- 優秀賞** 坂牧忠雄、株式会社すよし農事、山本実
金匠 畔上正、梅沢清一、小川保、金内一夫、株式会社かわかみ農園、農事組合法人桐沢担い手生産組合、佐藤篤、鈴木康男、有限会社杜々、農事組合法人なかさとみなみ、農事組合法人ファーム中里、諸橋昇一、丸山善弘、八子常雄、渡辺利彦



学校田部門

- 最優秀賞 NAGAOKA**
岡南小学校
- 優秀賞** 希望が丘小学校、東谷小学校
優良賞 川崎小学校、越路西小学校、豊田小学校



▲米・食のプロによる最終審査

担当：長岡うまい米コンテスト実行委員会事務局（農水産政策課 農村政策係）

農政のうせい VOICE

光陰如箭（光陰矢の如し）

長岡市農林水産部長 波形隆一

「光陰如箭」とは、月日が過ぎるのは飛ぶ矢のように早いということ、年の暮れやこれまでの生き方を振り返る時などにその意味を考えさせられます。しかし、早さについては、年齢によって感じ方に少し差があるようです。「ジャンナーの法則」によると、主観的に記憶される年月の長さは年少者はより長く、年長者はより短く感じられるとのこと。子どものころは、毎日が新鮮で、新たな出会いや発見がある一方で、大人になると経験値が増えて、日々の生活に新鮮さが無くなって、あっという間に時が過ぎるというわけです。充実した時間を過ごし、「我が生涯に一片の悔いなし」と言いたいところですが、みなさんはいかがですか？

もう一つ、年齢について言えば、江戸時代から昭和前期において、20歳まで生存した人は、平均余命で60歳くらいまで生きていたようです。当時の介護医療状況を考えれば、健康寿命とほぼ一緒と考えられます。当時の環境下で、月日の長さをどのように感じていたのか興味を沸かします。

現在、日本人の健康寿命は約74歳で、健康寿命を伸ばすためには、定期的に運動し、筋肉や骨の運動機能を維持するこ

とや、脳を積極的に活性化させることが重要とされています。その点からみると農業は、水田や畑で体を動かし、収量や品質向上に向けて、脳をフル回転させています。

農業の担い手の高齢化が懸念され、あわせて、国全体の人手不足により、食料の安定供給や国土保全などの課題がさらに深刻化してまいります。人口減少が避けられない中で、高齢者が安心して営農できる環境や、女性・若者を含めて多様な人材が活躍できる新しい農業の姿が求められています。そこで、健康との両立、生涯を通じて充実した時間や人生を送ることができる生涯産業として位置付けて農業を発展させることも一案かなと思います。そこから考えると設備投資、最低限の所得確保など、新たな支援の形が思い浮かびます。

今後も、地域農業の持続的な発展と維持に向けて、多様な人材育成・確保とともに、スマート農業や環境に配慮した米づくり、新規就農の推進など生産基盤の維持・強化をしっかりと応援していきたいと思います。

「生涯現役！」よろしくお願いたします。



農地集積で地域をまもる 法人化の取組み

現在、農業経営基盤強化促進法に基づく「地域計画」の取組みを全市で進めています。農地の集積・集約化も、これからの地域農業を考える上で、取組みの一貫です。今回は、集落において農事組合法人を立ち上げ、地域の農地集積を行った寺泊年友集落の「農事組合法人年友グリーンファーム」の梅澤代表、遠藤理事、五十嵐理事にお話を伺いました。



設立時の(農)年友グリーンファームの皆さん

法人の概要について教えてください。

令和5年2月に設立し、構成員39名、実働は40代後半から70代の15名程度で、ほとんどは日中、サラリーマンをしておられる方が多いです。水稲(47ha)を中心に、枝豆やかぼちゃ(8e)も試験的に栽培しています。

法人設立までのきっかけ、経緯を教えてください。

きっかけは、個人経営による収益の悪化及び耕作者の高齢化、小規模の作付け場所による作業性の悪さです。年友地区の個人営農者から、高齢化が顕著な現状の状態でも営農を続けていく事は難しい、との声が上がりました。その中で、営農者たちが多く集まってきていました。その中で圃場整備の話が上がり、進めていく方向で始まりました。

法人設立までに

どのような準備をされましたか？

圃場整備立ち上げプロジェクトとして年友地区圃場整備事業推進協議会を発足し、役員を選出を行いました。立ち上げ後は県内外の法人組織の取り組み内容を役員で視察させて頂き、今後の取り組みの参考にさせて頂きました。また、地域の方への理解を得ることで、農地の権利設定においても、個人間で調整するよりも、法人として受けることで、(地域の方との)調整をつまぐ進めることが出来ました。

法人を設立したことにより、どのような利点がありましたか？

法人化により設備投資の集約が行われ、無駄・作業口入を抑えた運営が出来つつあります。その事により個人の負担が削減できたことがメリットだと思います。

現在感じられている課題はありますか？

まだ設立して1年目なので、これから色々スタートして、検証していくところですが、法人は設立しましたが、年友地区は圃場整備事業に関する工事が始まっていないため、現状は、昔ながらの圃場で営農作業を行っている状況です。一区画当りの面積が小さい圃場で行っている為、その点においては作業口入が生じてしまいます。圃場整備が進み、作業口入の無い圃場で作業を行う、地権者への還元を目指して年友地区全体が潤える方向に進めて行ければと思います。

これから挑戦したいことや、進めていきたいことはありますか？

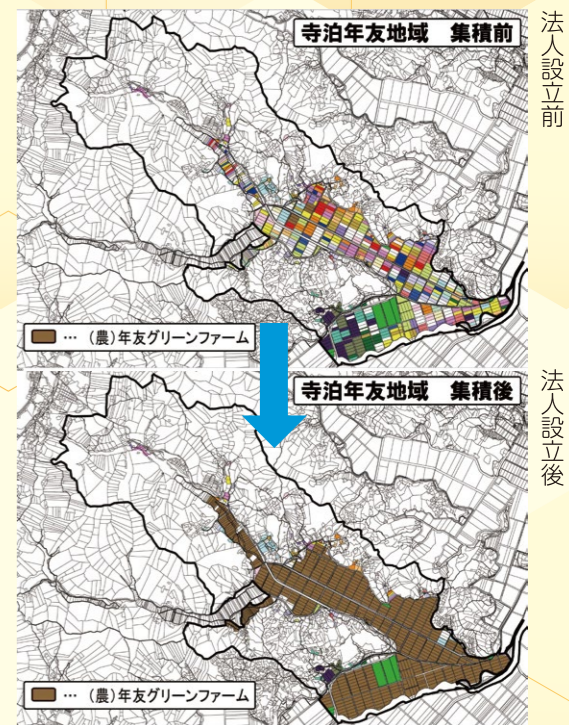
中長期的な計画を立て、実現に向けて今後取り組んでいきたいと考えています。中期的な目標に関しては法人の安定化で、今後自社一貫生産を目指す計画を考えています。長期的には、

米の販売や野菜の販売及び加工品の生産販売を行い、収支の安定化につなげていきたいと考えています。

これから法人設立を考えている方、地域へのメッセージ、アドバイスをお願いします。

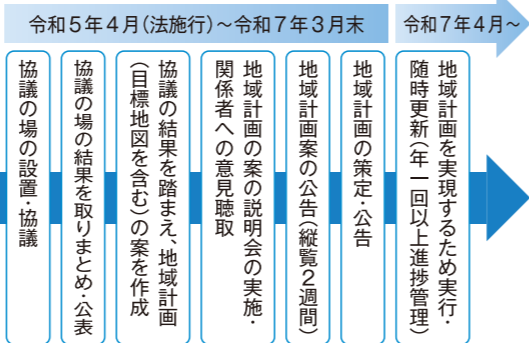
法人設立を行って一番感じた事が、地域の方々の協力です。地域の方々と法人化を進めていく上での信頼関係を築き上げる事が重要だと思えます。法人化を進めていく為の目的、地域への潤いなど、活動を行っていく上で、プランや考え方を明確にし理解を得る事が重要だと思えます。

地域の方々の理解を得ることの重要性を感じ、これからの展望について語るお姿が印象的でした。お忙しいところご対応頂きました。梅澤代表、理事の遠藤正司様、五十嵐様、大変ありがとうございました。



設立後、集落の約8割の農地を集積

地域計画策定スケジュール



今年市内全域で「地域計画」の策定を進めます

令和5年度は旧長岡地区及び寺泊地区の担い手の皆様を中心に「協議の場」において地域農業の将来の在り方を農業委員・農地最適化推進委員、JA、土地改良区など関係機関を交えて意見交換を行いました。令和6年度は、その他の地区において、地域での話し合いの場を開催予定です。皆様のご協力をお願いします。

担当：農水産政策課 担い手育成係

後継者を育成したい認定農業者の皆様必見です！

～「技術習得又は経営継承に向けた研修支援事業」でサポートします～

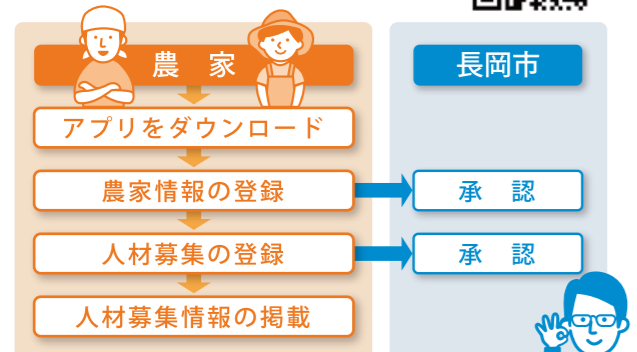
- 技術習得又は経営継承に向けた研修支援事業とは
●対象者
●補助内容

担当：農水産政策課 担い手育成係

累計2,700件ダウンロード!! 農楽仕事 (のらばいと) をご活用ください!

令和5年度は、令和6年2月末時点で約6割のマッチング率です。掲載もマッチングも経費はかかりません。女性にも人気です。農繁期の人手不足など、ぜひ積極的にご活用ください。使ってみたがやり方がわからない、などご不明点がありましたら、農水産政策課担い手育成係へお尋ねください。

農楽仕事 (のらばいと) QR code and download information.



担当：農水産政策課 担い手育成係

作業の効率化を目指す皆様、ぜひご活用ください

スマートアグリ推進事業補助金

長岡市では、スマートアグリを導入することで、労働力不足の改善や新規就農者・女性従業員の活躍を促進し、持続可能な農業の実現を目指す取組を支援します。令和6年度の申請方法については、4月上旬に長岡市HPにてお知らせ予定です。

Details of the Smart Agriculture Promotion Subsidy, including target groups, equipment, and application requirements.

担当：農水産政策課 農村政策係